

署名活動へのご協力をお願いいたします

2020年4月からのNHK朝の連続テレビ小説に 福島市出身の作曲家 古関裕而・金子(きんこ) 夫妻の人生を描く物語の放映を！！

昭和歌謡史に大きな足跡を残した古関メロディー。その出発は、新民謡といわれる叙情性に富んだ作品から始まりました。デビューレコードとなった「福島夜曲(福島セレナーデ)」、最初の記念すべきヒット曲「船頭可愛や」など、日本人の心の琴線に触れる優れた歌が次々と発表されていきました。戦争も終わり平和な時代を迎え、生きる希望と励ましを与える古関メロディーを人々は必死で歌い、聴きました。「夢淡き東京」「長崎の鐘」「君の名は」をはじめとする名曲は、まさに激動の“昭和史の旋律”となりました。

古関裕而の音楽に一貫して流れる清潔感は、スポーツ音楽という独特の世界にも表現されています。昭和6(1931)年、早稲田大学第六応援歌として作られた「紺碧(こんぺき)の空」は、現在では第一応援歌として校歌とともに親しまれています。『誰もが歌える健全な歌』をモットーに、庶民的でありながらも気品をそなえた古関メロディーは、やがてあらゆるジャンルのスポーツの祭典に欠かすことのできないものとなりました。高校野球、プロ野球、スキー、スポーツ番組テーマ曲など名曲の数々…。



その集大成ともいえる作品が、昭和39(1964)年の東京オリンピックのために作曲された

「オリンピックマーチ」でした。

福島市古関裕而記念館ホームページより

ご賛同いただける方は、裏面にご署名ください

世帯主に限らず、ご家族・ご親戚・ご友人など、それぞれのご署名をお願いいたします。

実施主体:古関裕而・金子夫妻 NHK朝の連続テレビ小説実現協議会

支援:福島市・福島商工会議所・観光コンベンション協会・福島商工会議所青年部

問い合わせ先:福島商工会議所(担当:片平 024-536-5511)